

国立研究開発法人土木研究所

令和9年4月採用職員向け

就職説明会

企画部 研究企画課

～本日の流れ～

1. 土木研究所の概要

2. 募集要項

3. 応募方法と選考ステップ

土木研究所の概要

土木研究所の仕事

土木研究所は国土交通省が所管する国立研究開発法人です。
国土交通省、県、市町村がおこなうインフラ整備の現場を支える縁の下の力持ちです。



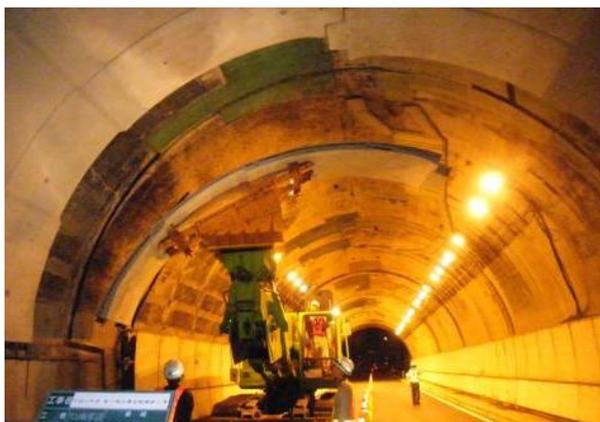
道路



河川



橋梁



トンネル



ダム



農業基盤

土木研究所の目的

国立研究開発法人土木研究所法

(平成十一年法律第二百五号) 第三条

国立研究開発法人土木研究所は、建設技術及び北海道開発局の所掌事務に関連するその他の技術のうち、土木に係るもの(以下「土木技術」という。)に関する調査、試験、研究及び開発並びに指導及び成果の普及等を行うことにより、**土木技術の向上を図り、もって良質な社会資本の効率的な整備及び北海道の開発の推進に資すること**を目的とする。

土木研究所の活動拠点

茨城県つくば市



土木研究所



敷地: 125ha、東京ドーム27個分

北海道札幌市



寒地土木研究所



寒地土木研究所
(北海道札幌市)

つくば中央研究所
水災害・リスクマネジメント国際センター
構造物メンテナンス研究センター
先端材料資源研究センター
(茨城県つくば市)

雪崩・地すべり研究センター
(新潟県妙高市)

戦略的イノベーション研究推進事務局
(東京都千代田区)

自然共生研究センター
(岐阜県各務原市)



土木研究所の歴史

土木研究所のあゆみ

大正10年 内務省土木局に
道路材料試験所が発足
大正11年 内務省土木試験所として
(1922年) 独立官署となる

昭和23年 建設省土木研究所と改称

昭和54年 筑波研究学園都市に移転

平成13年 国土交通省土木研究所と改称

独立行政法人土木研究所となる
→国土技術政策総合研究所を分離

寒地土木研究所のあゆみ

昭和12年 内務省北海道庁に土木部試験室が発足
昭和22年 北海道土木試験所として
独立官署となる

昭和26年 北海道開発局土木試験所と改称
昭和63年 開発土木研究所と改称

平成13年 独立行政法人
北海道開発土木研究所となる

平成18年 2つの研究所が統合して独立行政法人土木研究所となる

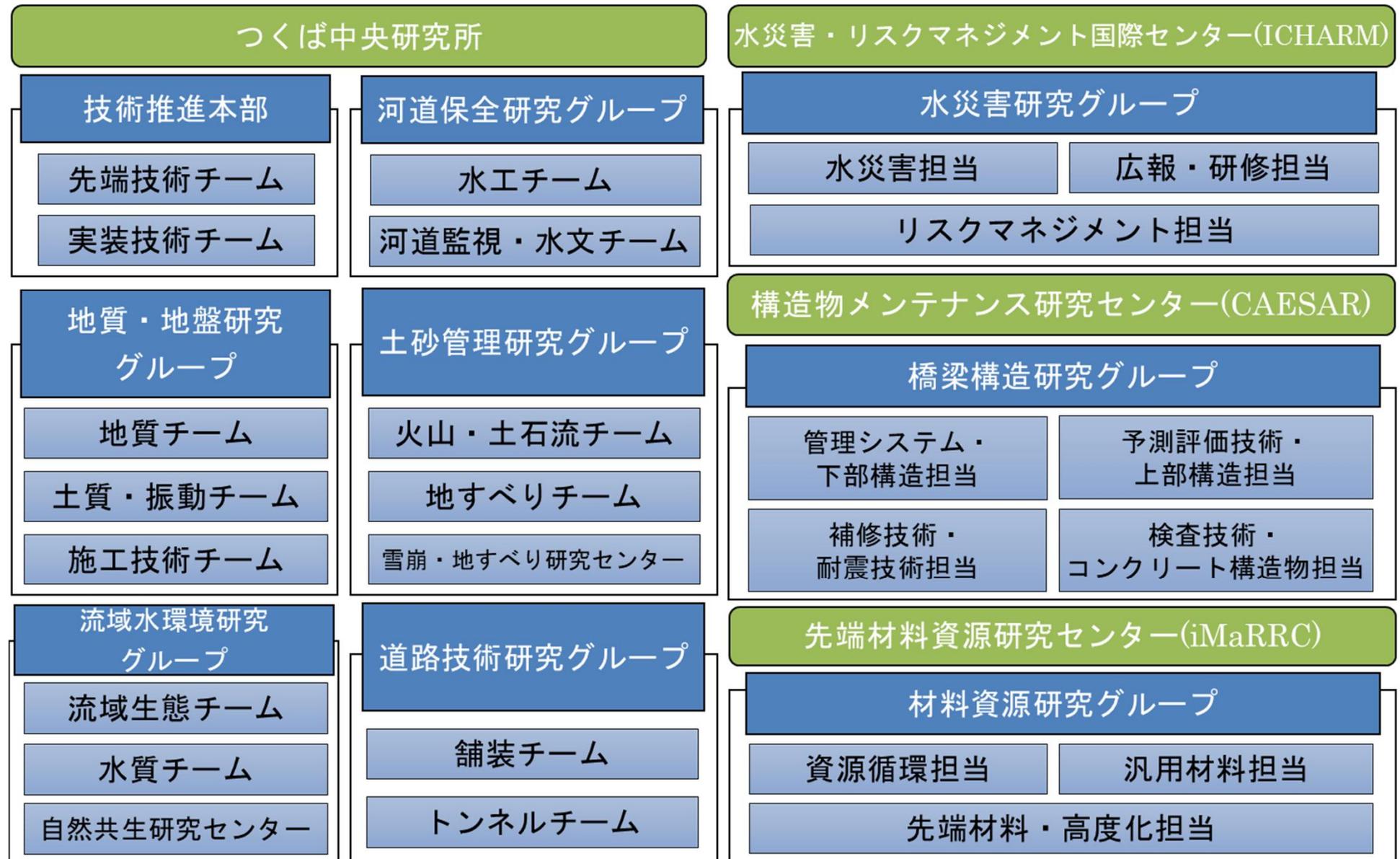


平成27年 国立研究開発法人土木研究所となる

令和4年(2022年)に **創立100周年** を迎えました

令和5年 戦略的イノベーション研究推進事務局を設置

土木研究所の研究体制(つくば)



土木研究所の研究体制(寒地)



寒地土木研究所

技術開発調整監

寒地技術推進室

寒地機械技術チーム

寒地基盤技術研究グループ

寒地構造チーム

寒地地盤チーム

防災地質チーム

寒地保全技術研究グループ

耐寒材料チーム

寒地保全道路チーム

特別研究監

地域景観チーム

寒地水圏研究グループ

寒地河川チーム

水環境保全チーム

寒冷沿岸域チーム

水産土木チーム

寒地道路研究グループ

寒地交通チーム

雪氷チーム

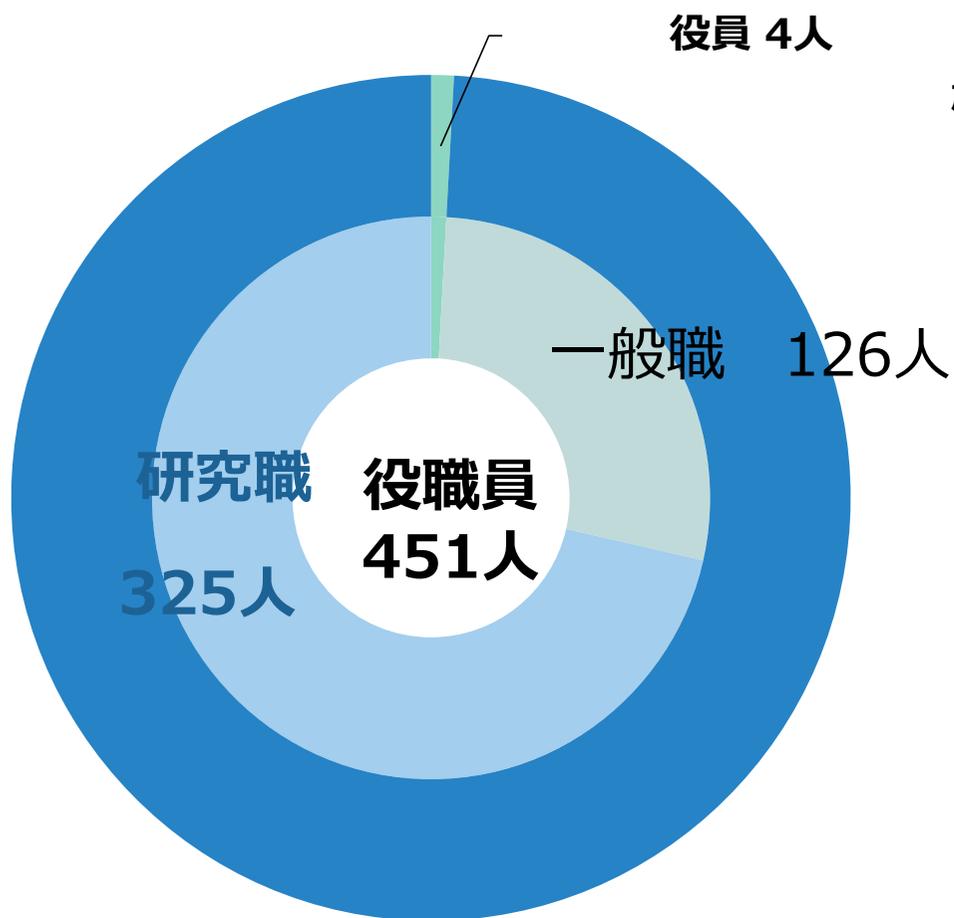
寒地農業基盤研究グループ

資源保全チーム

水利基盤チーム

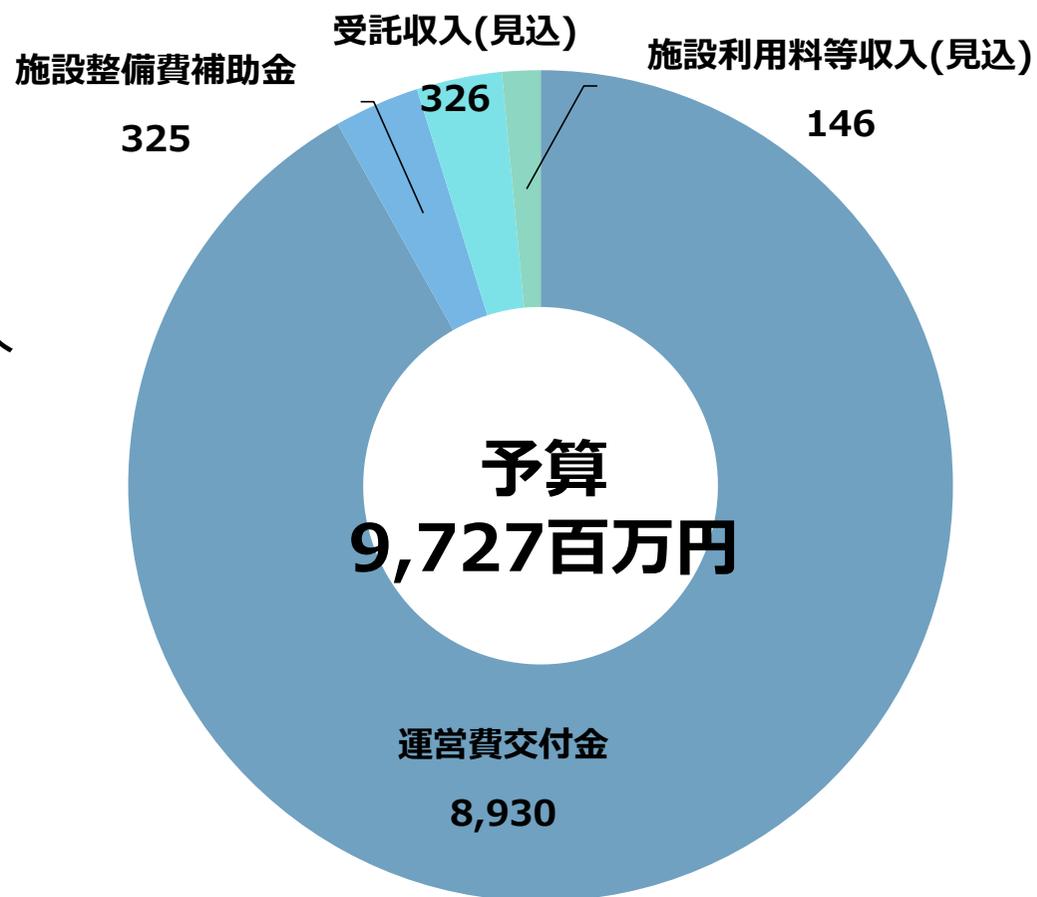
職員数・研究予算

役職員数



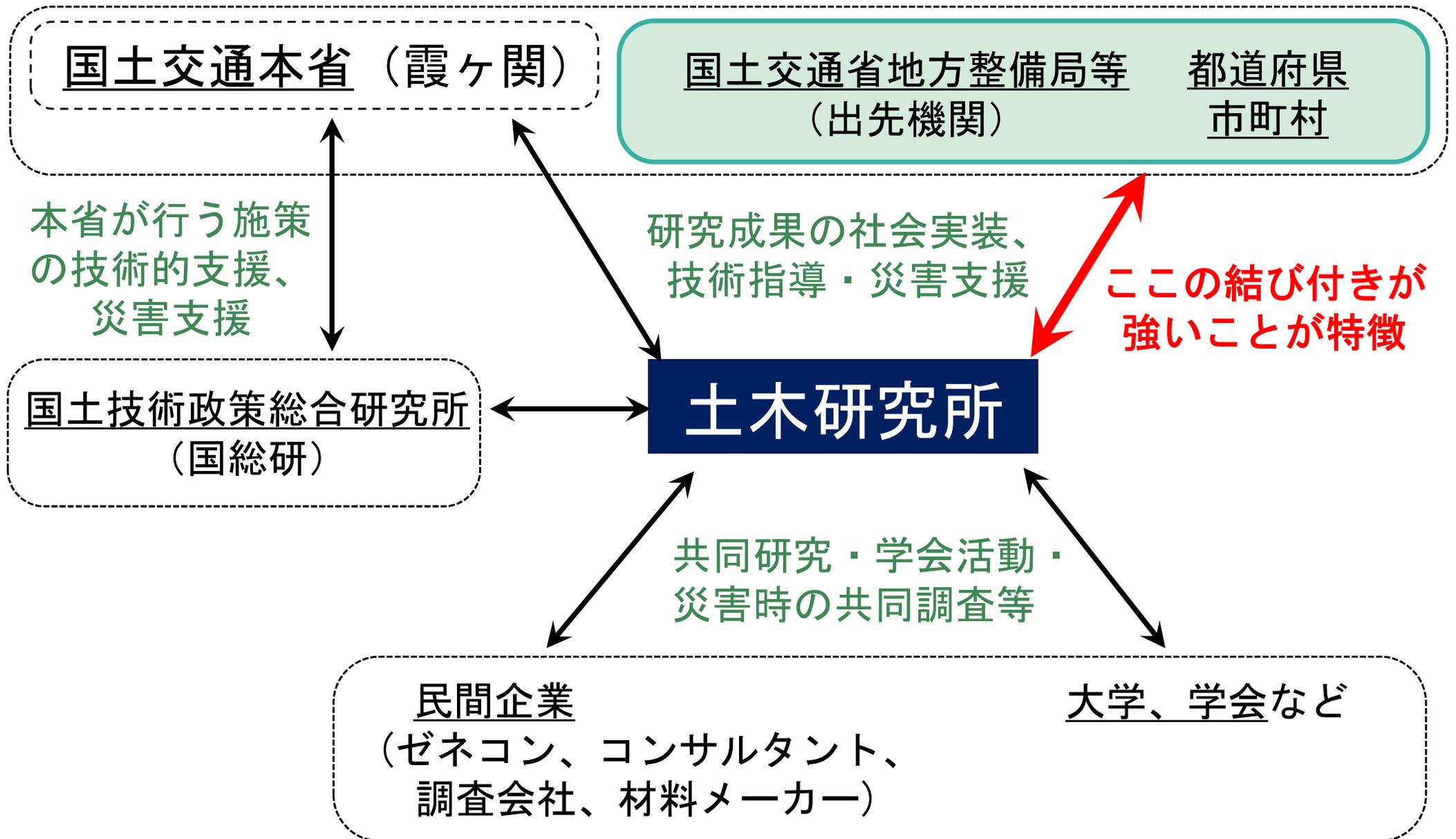
その他非常勤役員 1人

予算



令和7年4月1日現在

土木研究所の他機関との連携体制



土木研究所の研究内容

土木研究所では、将来も見据えつつ社会的要請の高い課題に重点的・集中的に対応するため3つの研究開発テーマのもとに15の具体的な研究開発プログラムを構成し、研究開発を推進しています。

目標 1

自然災害からいのちと暮らしを守る国土づくりへの貢献*

災害予測技術の開発、大規模な外力に粘り強く耐える施設の開発など、新たな技術的課題へ即応するための技術の研究開発等に取り組む。

目標 2

スマート*で持続可能な社会資本の管理への貢献

建設現場の生産性向上の推進など、現場の働き方を飛躍的に変革するため、より効率的な施設の管理に関する技術の研究開発等に取り組む。

目標 3

活力ある魅力的な**地域・生活***への貢献

気候変動適応策の推進やカーボンニュートラル、美しい景観整備、農業水産基盤の整備・保全等に向けた技術の研究開発等に取り組む。



目標 1 自然災害からいのちと暮らしを守る国土づくり

高頻度・高分解能の観測データがよりの確な土石流対策の実現に貢献

注目ポイント 観測の難しい土石流について、火山領域では世界初の3次元LiDAR（レーザーで地形を立体的に測る技術）計測に成功。計測結果を生かした土石流解析によるハザードエリアの明確化や対策工の設計精度の向上を通じて災害対応に貢献

研究概要 3次元LiDARによる観測データを取得し、広域降灰後の土石流氾濫計算モデルの精度が向上させる

令和6年度の成果 非接触かつ高頻度・高分解能をもつ3次元LiDARによる観測を実施。反射率の低さや降雨のノイズ等の課題に対して計測機器の選定や設定・配置を工夫し、土石流の水深や水面形状、流量を高精度・高頻度・高分解能で計測（夜間や複数回）。



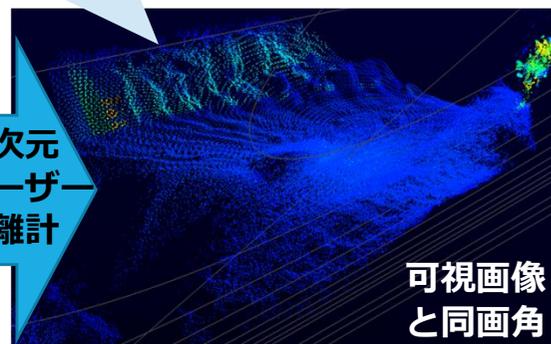
平常時の砂防堤防

2024/10/13土石流流下時の可視画像
(国交省大隅河川国道事務所提供)



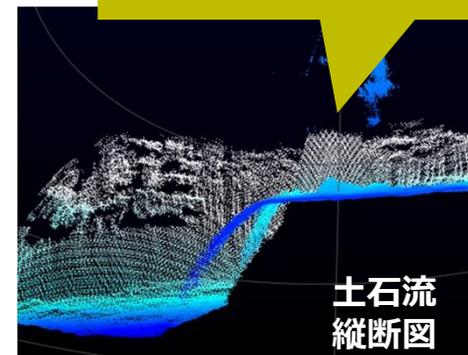
3次元
レーザー
距離計

火山領域では
世界初計測！



3次元計測結果

水深や水面形状、
流量等が明瞭



目標2スマートで持続可能な社会資本の管理への貢献

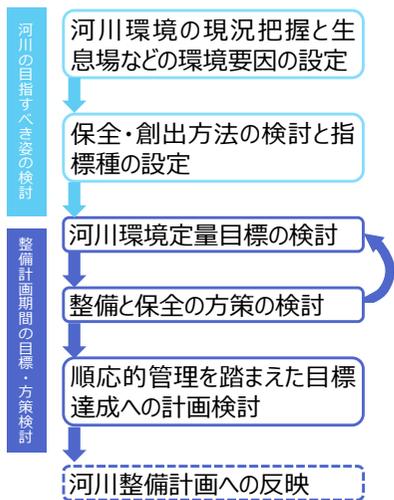
史上初 河川環境の定量的な目標設定手法を開発

注目ポイント ネイチャーポジティブの実装に向け「回復型」川づくりに必要な**定量的な河川環境目標の設定手法を開発**、周知し、河川環境の改善をより計画的・効果的に推進。

研究概要 国土交通省との連携により、各河川の実態に応じた**定量目標の設定を支援**。種数や生物の生息確率に対する様々な整備(対策)の効果を予測するモデルを開発する。

令和6年度の成果 直轄10河川の事例をもとに、**土研の知見や事例を河川環境定量目標の検討方法に盛り込み管理者に周知**

▽河川環境目標の設定手法案



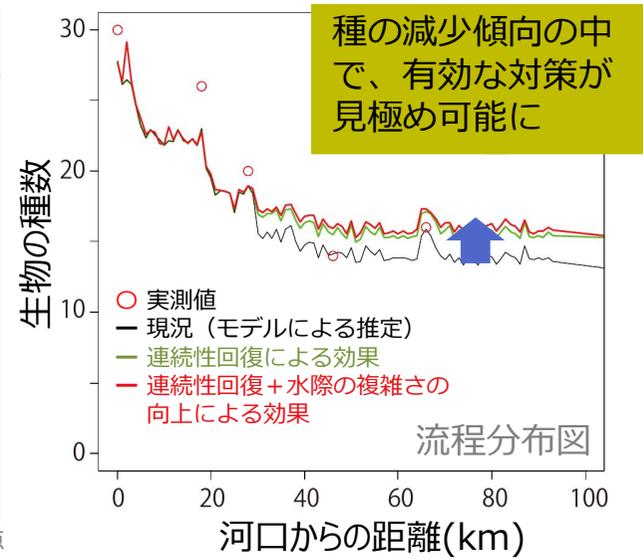
(定量目標設定例)



▽生物種等に対する整備(対策)効果の定量予測モデル

予測モデル
河川・水辺の国勢調査*等のビッグデータを使用
AIによる予測

川の形成に関する物理的側面と、生物学的側面とを名実ともに統合



*全国約4000地点
1990年から実施

目標2スマートで持続可能な社会資本の管理への貢献

自動施工技術基盤OPERA、機械土工に対応し自動化可能に！

注目ポイント OPERAの自動運転対応建設機械に新たに**3機種追加**し、建設工事の基本である**土の掘削から締固めまでの一連の作業(6機種)**に対応可能に。今後、自動施工技術開発が促進され、現場作業の効率化(最大7割省人化)や安全性向上が期待。

研究概要 少子高齢化に伴う担い手不足が深刻化する中、建設機械の自動施工技術の開発促進と普及を目的として、メーカーや特定のソフトウェア、システムに大きく依存しないオープンな開発環境として、OPERAを開発・公開。OPERAは、共通制御信号、ミドルウェア、シミュレータ、建設機械および実験フィールドを含む実証試験環境により構成される。

令和6年度の成果

OPERAの構成

Open Platform for Earthwork with Robotics and Autonomy



建機の作業を計画し、自動で制御・実行するソフト

異なるメーカーの機械を同じプログラムで動かすための仕組み

仮想空間で建設機械の動作を再現

自動で動くよう改造した建設機械

実証試験可能な土木研究所内の専用フィールド

土の掘削～締固めまでの対応が完了

開発した自動運転対応建設機械



R6年度における自動運転対応機種の拡充

目標 3 活力ある魅力的な地域・生活への貢献

道路舗装再生にナノ分析法を適用し、日本の道路を守る

注目ポイント

舗装リサイクルの質の向上が求められる中、**再生したアスファルトがよい状態か一目で把握可能なナノ観測法を開発**。少量で瞬時に評価できるため、高品質な舗装リサイクルの技術開発が加速し、アスファルト舗装の長寿命化が進み、市民生活の安全性や快適さの向上が期待される。

研究概要

アスファルトの劣化⇄再生のメカニズムを解明することで、最適な舗装リサイクル技術の開発につなげる。

令和6年度の成果

土研が長年提唱していた再生メカニズムを可視化で証明

アスファルトの再生



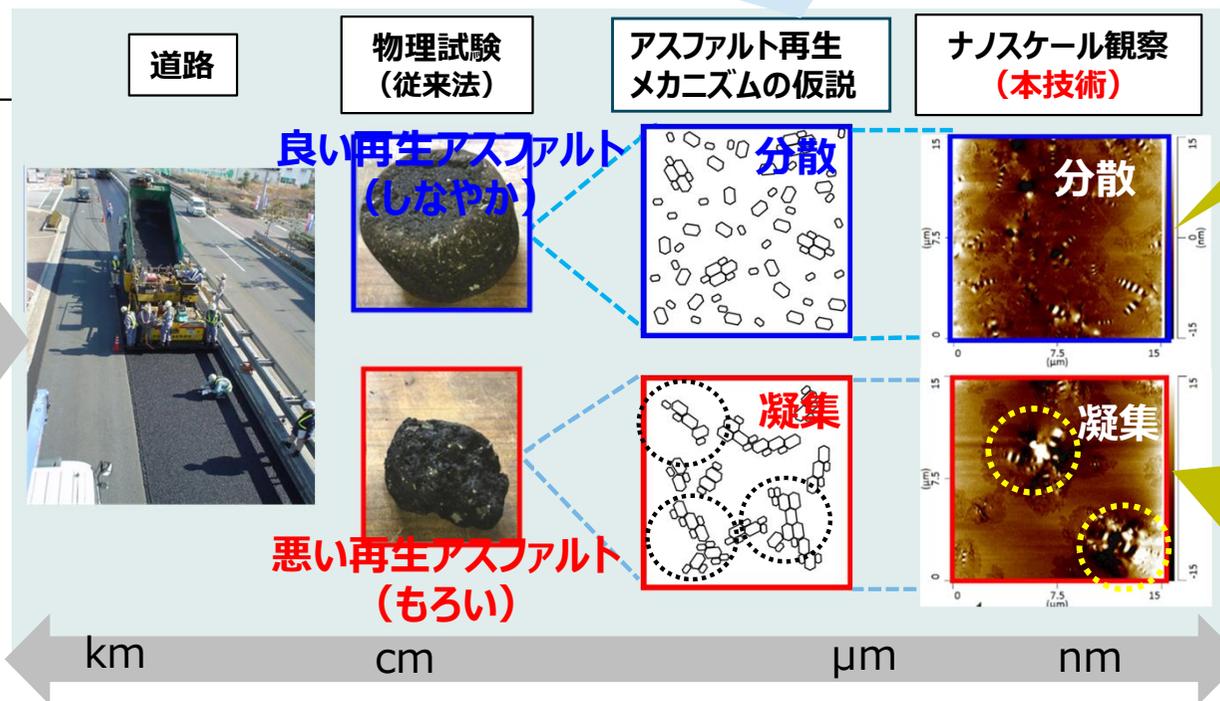
劣化した舗装



再生用添加剤
(劣化した舗装を軟化させる)



再生したアスファルト



物理試験をしなくても違いが一目でわかる

従来法 (数週間) と比べ、少量かつ瞬時に試験可能
分析の省力化で新技術の試行期間短縮による技術開発スピードを加速

現場で発生する**技術的課題**に対して**専門家**として助言したり
論文発表による**成果の普及**を積極的にこなっています。
現場の課題を持ち帰り、**開発した技術**を現場に還元します。



災害発生時には全国どこでも現場に駆け付け 被災状況を調査したり、復旧のための助言をします。



2024年1月1日に発生した能登半島地震の被災現場に、連日専門家を派遣しました。



盛土変状調査



覆工崩落箇所での被害状況調査



土砂流出による家屋倒壊現場の調査



液状化被害状況の調査



被災した橋梁の調査



珠洲市長へ助言

2025年1月28日に発生した八潮市内道路陥没事故においても、要請されて現地調査を行っています



関東地方整備局、埼玉県、国土技術政策総合研究所、日本下水道事業団、土木研究所、鹿島建設、大成建設

地質・地盤研究グループ 地質チーム、施工技術チーム
流域水環境研究グループ 水質チーム

募集要項

土木研究所は、

土木技術に関する様々な分野の研究開発とその総合化、

さらにプロジェクトマネジメントを通じて、

現場に役立つ土木技術の向上を達成し、

もって社会にイノベーションをもたらし、

「より良い世の中」の実現を

一緒に目指していただける方を求めています。

募集要項の概要

募集要項は土木研究所ホームページに掲載しています

募集する職種	研究職
応募資格	※詳しく説明します
採用予定日	原則として令和9年4月1日
任期	※詳しく説明します
採用予定者数	最大10名程度
勤務地	茨城県つくば市(つくば中央研究所等) 北海道札幌市(寒地土木研究所) 新潟県妙高市(雪崩・地すべり研究センター) 岐阜県各務原市(自然共生研究センター) 東京都千代田区(戦略的イノベーション研究推進事務局) ※上記の勤務地間を異動する場合や、国等の行政機関へ出向し、勤務地が変更になる場合があります。
活動領域	※詳しく説明します

応募資格

令和9年(2027年)3月までに**工学、農学、理学及びそれに類する分野**のいずれかに該当する大学院(博士・修士課程)・大学・短期大学・高等専門学校を修了・卒業見込みの方

または令和9年(2027年)3月時点で修了・卒業後3年程度以内の方
(就業経験を有する方を含む)

○日本国籍を有していない場合は、採用予定日までに日本国内における当研究所で就労するために必要な在留資格を取得してください。

○業務の遂行に必要な日本語能力を有する方

※欠格事項

次のいずれかに該当する場合は、採用試験を受けることができません。

- ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者
その他その執行を受けることがなくなるまでの者
- ・日本国憲法又はそのもとに成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党
その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

任 期

採用にあたっては、定年制での雇用を前提とします。

なお、当面の任期は**3年間**とし、本人の意思等を確認した上で定年制に移行します。

また、採用予定日時点において、**国家公務員採用総合職試験(院卒者試験または大卒程度試験)の採用候補者名簿に登録されている者(2027年度土木研究所新規採用者募集においては、2024年、2025年、2026年度の合格者)**は、希望した場合、定年制として雇用します。ただし、対象となる試験区分は、以下のとおりです。

- ①工学、②デジタル、③数理科学・物理・地球科学、④化学・生物・薬学
- ⑤農業科学・水産、⑥農業農村工学、⑦森林・自然環境

活動領域

土木研究所の活動領域

キャリアパスのイメージ

研究員

10年程度

①～⑨の領域で研究活動
(分野横断的取組みも含む)

⑩、⑪など様々な分野や
組織を超えた取組

主任研究員

20年程度

①～⑨の領域で研究活動
(分野横断的取組みも含む)

⑩、⑪など様々な分野や
組織を超えた取組

上席研究員

No	組織 活動領域※2	つくば中央研究所等※1	
		つくば中央研究所等※1	寒地土木研究所 (主に寒冷地域対象)
①	地質・地盤	地質	
		土質・地盤	
		土工構造物	
②	道路	橋梁	
		舗装	
		トンネル	—
		—	道路交通
		—	雪氷
③	砂防	土石流、地すべり	
		雪崩	
④	河川・ダム・ 海岸	河川	
		水災害	
		ダム水理	—
		—	海岸・港湾・沿岸施設
⑤	環境	河川環境	
		水質・衛生	
⑥	材料	土木材料	
⑦	機械・情報	建設機械・機械設備・情報通信・電気通信設備	
⑧	農業・水産	—	農業土木・土壌・灌漑
		—	水産土木
⑨	地域・景観	—	景観・まちづくり
⑩	技術マネジメント・ 研究企画	研究開発成果の普及、技術移転促進、研究推進業務、研究 開発評価対応、災害対応、国際協力、広報等	
⑪	プロジェクト マネジメント	研究開発成果の社会実装に 向けたプロジェクト管理等	

★研究職の方には、①～⑨の領域において研究開発に取り組んでいただくことを基本としています。そのうえで、目標達成のために、分野横断的な取組みも活発に行っていただきます。また、優れた研究開発成果の実装や新たなイノベーションをもたらすために、分野や組織を超えた様々なマネジメント(⑩、⑪)に取り組んでいただくこともあります。

勤務条件・福利厚生

以下の勤務条件は2026年3月1日時点の内容です。
国家公務員に準じています。

● 勤務日及び勤務時間

月～金 8:30 ～ 17:15(フレックスタイム制度あり)

● 給与等

基本給:博士修了	313,000円
修士修了	281,900円
学部卒	259,200円
短大・高専卒	238,600円

※ それぞれの基本給は学歴、職歴により加算有り

その他手当:地域手当、時間外勤務手当、扶養手当、通勤手当等を支給

賞 与:年2回(6月、12月)

昇 給:年1回

勤務条件・福利厚生

- 社会保険
国土交通省共済組合、雇用保険に加入
- 休日
土日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日まで)
- 年次有給休暇
採用の年は15日(4/1採用の場合)、翌年からは20日/年
20日まで翌年に繰越可。
- 特別休暇
夏季休暇3日間その他、結婚、出産、忌引き等の場合
- 住居
空きがある場合には、公務員宿舎に入居可能。
賃貸住宅に入居する場合は、土木研究所の規程により住居手当を支給。

勤務条件・福利厚生

● 子育て支援制度

土木研究所は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けており、仕事と家庭（育児）の両立に向けた制度が充実しています。

● 女性活躍推進

土木研究所は女性活躍推進行動計画に基づき、女性研究職員の積極的な採用を進めています。

新規採用職員募集に関するご質問は下記までお気軽にご連絡下さい。

国立研究開発法人土木研究所 企画部研究企画課 採用担当
〒305-8516 茨城県つくば市南原1-6 TEL:029-879-6751
recu-kikaku@pwri.go.jp [web:https://www.pwri.go.jp](https://www.pwri.go.jp)

応募方法と選考ステップ

土木研究所の新規採用職員募集に応募したい方は以下の手続き、書類の提出が必要です

マイナビ2027から 土木研究所にエントリーしてください

令和8年3月16日(月)
日付が変わるまで受付

3月1日～エントリーした方に提出に関するお知らせをメールでお送りします



エントリーシートを提出してください

令和8年3月18日(水)
日付が変わるまで受付

様式は土木研究所ホームページからダウンロードしてください(募集要項の選考ステップにURL記載)

<https://www.pwri.go.jp/jpn/recruit/apply.html>

提出はマイナビ2027のMy Career Boxへ

提出依頼は個別にお送りします

過去に締切日にギリギリの提出の際の
送受信トラブルがありました
余裕を持って提出してください



事前課題を提出してください

令和8年3月23日(月)
日付が変わるまで受付

様式は土木研究所ホームページからダウンロードしてください(募集要項の選考ステップにURL記載)

<https://www.pwri.go.jp/jpn/recruit/apply.html>

提出はマイナビ2027のMy Career Boxへ

エントリーシートを提出した方に、事前課題の提出依頼をお送りします

適性検査を受検してください

受検期限
令和7年3月23日(月)

エントリーシート提出者に個別にご連絡します

エントリーシートの書き方

日付は変えないでください

エントリーシート

令和 8 年 4 月 1 日 時点

写 真

(3ヶ月以内に撮影したものに限り)

[4cm×3cm]

ふりがな 氏名			
生年月日	年	月	日生 (満 才)
現住所 〒(-)	電話番号 ()		
	携帯電話番号 ()		
連絡先(現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入) 〒(-)	電話番号 ()		
e-mail アドレス			

年	月	学歴(高校等卒業以降から記載する)・職歴・賞罰 (項目別にまとめて記載する)
		学歴・職歴・賞罰

高校卒業以降から記載
古い順に上に記載

年	月	免許・資格等

特技・趣味など	健康状態

国立研究開発法人土木研究所を志望した動機をお書きください。(11ポイント、600字以内)

志望動機

土木研究所を志望した動機を
自分の言葉で記載してください

自己PR(自分の強み、弱みなど)をお書きください。(11ポイント、800字以内)

自己PR

強み、弱みを
自分の言葉で記載してください

学生時代の取り組みで特にアピールしたいものをお書きください。(11ポイント、800字以内)

アピールできること

学業、アルバイト、部活動、ボランティア
どんなことでも構いませんので
特にアピールしたいものを記載してくだ
さい

所属研究室 所属研究室 研究分野がわかるように記載してください

希望する方に○
(どちらでもいい
場合は両方に○)

募集要項の「土木研究所の活動領域」の中で、あなたが土木研究所で「活躍できると
思う活動領域」または「興味や関心のある活動領域」に○を書いてください(複数記載
可)。また、希望する活動領域があれば◎を書いてください(複数記載可)

活動領域

①地	②地	③水	④環	⑤環	⑥材	⑦機	⑧農	⑨景	⑩企	⑪ブ

①～⑪から複数選択

上記の活動領域を選んだ理由についてお書きください。(11ポイント、300字以内)

①～⑪の番号だけでは伝えきれないこと
があればこちらに記載してください

エントリーシートの書き方

(以下の事項について該当・非該当のどちらかに○印をつけてください)

1. 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者	該当・非該当
2. 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者	該当・非該当

忘れずに○をつけてください

(以下の事項は、外国為替及び外国貿易法に基づく安全保障輸出管理において確認が必要な事項のため、記載及び○印をつけてください。)

1. 国籍 (国名をご記載願います)	
2. 外国為替及び外国貿易法第6条第1項第6号に規定する非居住者 (別表「居住性の判定」のとおり)	該当・非該当

国籍欄の記載忘れが多いです
忘れずにお願いします

別表

居住性の判定

外為法上、個人の居住性は、原則として、住所または居所を本邦に有するか外国にするかによって決定されますが、具体的には次表のとおりです。
(法6条1項5、6号、大蔵省通達昭和55年11月29日蔵国第4672号「外国為替法令の解釈及び運用について」より)

本邦人	居住者	(1)本邦人(原則として居住者) (2)本邦の在外公館に勤務する目的で出国し、外国に滞在する者
	非居住者	(1)2年以上外国に滞在する目的で出国し、外国に滞在する者 (2)外国にある事務所(本邦法人の支店、現地法人、駐在員事務所、国際機関を含む)に勤務する目的で出国し、外国に滞在する者 (3)前(1)(2)に掲げる者のほか、本邦出国後、外国に2年以上滞在するに至った者 (4)前(1)～(3)に掲げる者で事務連絡、休暇等のため一時帰国し、その滞在期間が6か月未満の者
外国人	非居住者	(1)外国人(原則として非居住者) (2)外国において任命された外交官、領事官またはこれらの者の随員、使用人 (3)外国政府または国際機関の公務を帯びる者 (4)アメリカ合衆国軍隊、合衆国軍隊の構成員、軍属、家族、軍人用販売機関等、軍用郵便局、軍用銀行施設および契約者等 (5)国際連合の軍隊、国際連合の軍隊の構成員、軍属、家族、軍人用販売機関等および軍事郵便局ならびに政府が国際連合の軍隊と合意して定めるところに従い財務大臣が指定する者
	居住者	(1)本邦内にある事務所に勤務する者 (2)本邦内に入国後6か月以上経過するに至った者

(注)個人の場合、居住者または非居住者と同居し、かつ、その生計費がもっぱら当該居住者または非居住者に負担されている家族の居住性は、当該居住者または非居住者の居住性に従います。

外為法Q & A(資本取引編)(日本銀行)より

事前課題の書き方

事前課題

ふりがな	どけん たろう	所属ゼミ・研究室
氏名	土研 太郎	〇〇ゼミ ■■■研究室(先生の苗字) △△研究室(専門の学問の名前) など

自身の行っている(これから行いたい)研究テーマについて、課題になっている事柄とその解決策を、自分なりに考えて記述してください(11ポイントで枠内に収まるように記述)。図表等を用いたい場合は、補足資料としてください(A4・1ページ以内、図表等は2つまでとする)。

なお、研究内容が土木研究所の活動領域と一致している必要はございません。

文字サイズ:11ポイント、枠サイズは変更しない

◆ 既に研究室に配属されるなど、研究テーマが決まっている方

実施している研究内容を記載

- 課題になっている事柄
- その解決策 を自分なりに考えて記述

◆ まだ研究室に配属されておらず、研究テーマが決まっていない方

これから実施したい研究内容を記載

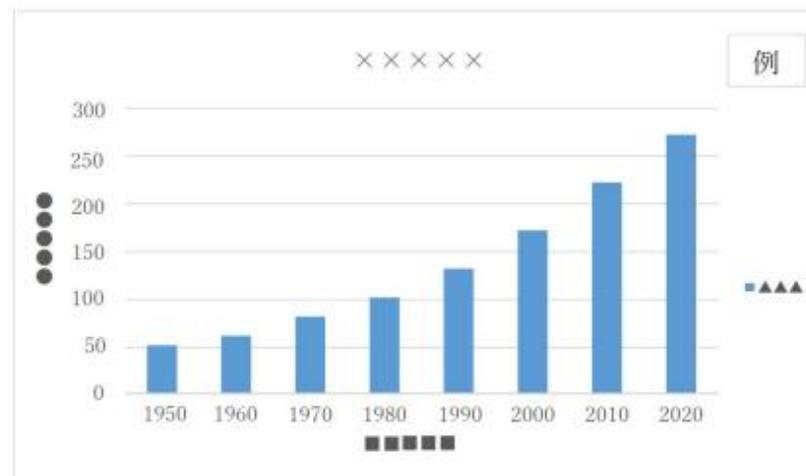
- 課題になっている事柄
- その解決策 を自分なりの考えで記述

【補足資料】の貼付例

※補足資料はA4・1ページ以内としてください。

【図表一つ目】

図表-1 補足資料はA4 1ページ以内としてください

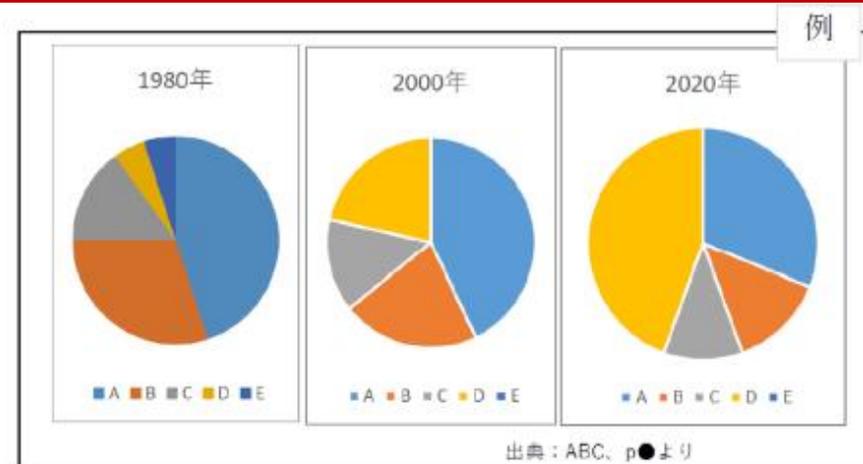


出典: ABC, p.●より

【図表二つ目】

図表-2

このような図は1つとみなします



出典: ABC, p.●より

出典: ABC, p.●より

図表-2に示すグラフは1つの図表とみなします

応募書類 提出後のスケジュール

エントリーシート、事前課題、適性検査



1次選考(書類選考)



4月中旬までに 1次選考結果の通知

個別にメールでご連絡します



2次選考(グループディスカッション)

4月下旬～5月上旬頃にオンライン上で実施予定です
詳細は1次選考(書類選考)通過者にご連絡します



最終選考(面接、プレゼンテーション)

5月下旬に東京都内で実施予定です
詳細は2次選考(グループディスカッション)通過者にご連絡します



最終選考結果の通知

5月下旬～6月上旬頃

採用に関するお問い合わせは
以下のメールアドレスまでお願いします

recu-kikaku@pwri.go.jp